

# 紫藤新聞



宮城県白石工業高等学校 報道委員会  
〒989-0203 宮城県白石市郡山字鹿野43  
TEL 0224-25-3240 FAX 0224-25-1476

## 復興応援 『いちご』をどうぞ



昨年12月9日、JRC仙南高校支部の代表として本校と白石高校の生徒たち計6名が、亘理山元いちご選果場を訪れ、東日本大震災から立ち上がるいちご生産者の方々への応援といちごのPRを兼ねて『いちごキーホルダー』を生産者代表の方へ贈呈しました。

JRC仙南高校支部は、白石、蔵王、村田、大河原商業、白石工業の各高校と船岡支援学校の計6校で構成されています。

本校の工業化学科で作った『いち

ご』の原型に、各校のメンバーが色つけをし、復興応援のメッセージを書いたタグを取り付けました。

亘理・山元地区は、かつて東北最大のいちご産地でしたが、あの東日本大震災で壊滅的な被害を受けました。絶望的な状況の中で、それでも「地域の復興にはいちご生産の復活しかない」と震災直後から行動を起こし、着実な歩みを続けてこられた生産者の方々の姿は、生徒たちに深い感銘とこれからの人生の指針を与えたようでした。



今回訪問したJRC部員の機械科3年、戸田辰椰君、星和輝君に話を聞きました。

被災地には初めて入ったのですが、震災から3年以上経っているのに、まだ周りには何もない状態なのを見てびっくりしました。被害の大きさを目の当たりにすると、そのような逆境から立ち上がるうとした生産者の方々は本当にすごいと思いました。

選果場でお会いした生産者の方々は、いきいきとして全体的にとっても明るい雰囲気でした。お一人お一人が浜吉田のいちごを取り戻そうという思いが伝わってきました。

いちごの品種である『もういっこ』について楽しそうに話をしてくれました。

### 聞き書き 訪問記

ともあると思いますが、そのようなとき、震災から立ち上がって懸命に復興に取り組んでいる生産者の方々の姿を思い出して頑張りたいです。

被災県出身である私たちは、これからも復興に関わっていかねばならないと思います。私は一人一人として大きなことは

震災で全てを失ってしまっても立ち上がることが出来たのは、生産者の方々の団結力が強く、一つの目標へ向かい努力することが出来たからだと思います。

私も努力を惜しまず頑張ってみたいと思いました。

私はこの春から社会に出ます。色々困難に直面することになります。



出来ませんが、地元で働いて地元のお役に立てればと思っています。

私は県外へ出てしまいましたが、現在でも宮城県の様々な場所でボランティア活動が行われているので、帰省した際に、私の身の回りで出来るボランティア活動に少しでも参加したいと思います。

(文責：報道委員会)

## サンフェア賑わう

昨年11月8日～9日、まなウエルみやぎ(名取市美田園)など県内5会場で『さんフェア宮城2014』が開催されました。

さんフェア(全国産業教育フェア)とは、専門高校等の生徒の学習成果を総合的に発表する全国的な大会です。

本校からは、手作り機関車の試乗や木工パズルの展示などを行ったほか、大会運営に多くの生徒が活躍しました。

参加した生徒たちはたくさんの方々の来場者の方々や他校生との交流の中で、確かな手応えをつかんだようです。

当日のスナップをお届けします。



たいしたもんだねえ



♪ 運転手はボクだ  
お母さんも妹ちゃんもゴキゲン



建築科木工パズル



ちょっと貸さいます



座りあんべ  
いいこだねや

あの日から4年  
みやぎ鎮魂の日  
3月11日午後2時46分

お母さんにも、女子高生にも大人気  
いちごキーホルダーの無料配布は、たちまち品切れに